

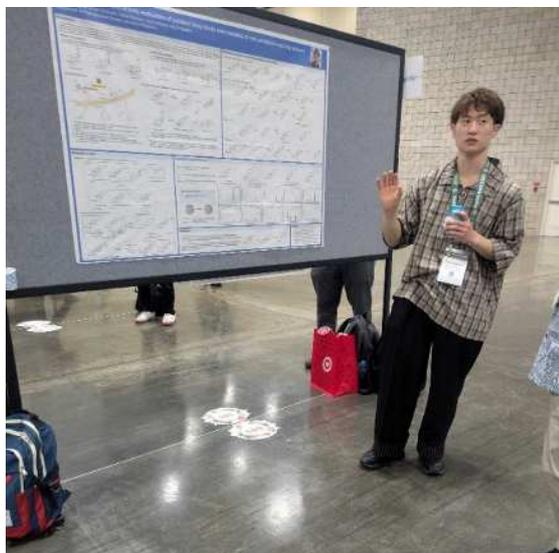
報告書

Pacificchem2025にてポスター発表

2025年12月15日から20日にアメリカ合衆国ハワイ州ホノルルにて開催された「The 2025 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacificchem2025)」に参加しました。Pacificchem 2025は、太平洋域化学協会が共催する科学会議シリーズの9回目であり、1984年に設立されたこの会議は、約5年ごとにハワイ州ホノルルで開催されています。本学会のテーマは、地球規模の課題に対処するコミュニティの構築です。さらに本学会は化学分野の学生、若手研究者、そして経験豊富な専門家がアイデアを交換し、成長できる、活気に満ちた包括的なコミュニティの構築を目指しています。私自身、同学年の発表者や、他研究室の教授、国籍の異なる研究者の方々と意見を交換することができ、とても有意義で価値のある体験ができました。

私は「Chemical synthesis and activity evaluation of putative biosynthetic intermediates of cyst nematode's hatching inducers」という題目でポスター発表を行いました。本研究では、植物に寄生し栄養を奪うことで植物の生育を阻害する、ジャガイモシストセンチュウおよびダイズシストセンチュウの孵化誘因物質「solanoeclepin A」および「glycinoeclepin A」の生合成解明を目指しています。本発表では、推定生合成中間体の生体模倣有機合成による生合成経路の検証と生合成中間体の獲得、さらに合成した中間体のセンチュウに対する孵化誘因活性試験の結果を報告しました。

私は本学会が初めての国際学会であり、自身の研究内容を英語で伝えることの難しさや、相手に内容を伝えられた時の喜びを味わうことができました。また、初めての海外渡航ということもあり、買い物や食事といった場面でも英語でコミュニケーションをとったり、日本と異なる文化に触れたり、国内では体験できない経験を積むことができました。私は今回の体験を通して、自身と異なる研究や考え方を学べただけでなく、自身の英語力の未熟さや日本と海外の違いを再確認することができました。この度は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻
博士前期課程1年 生薬学講座 山口 友喜